

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きつずTREE 放課後デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 15日		R7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		R8年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者(児童)に対して丁寧な関わりができる。	本児に発達、特性に基づいてその日その時の体調や精神状態に考慮して対応している。	心理士や保育士などの多職種の職員が関わることで利用者の観察をしたり、今後の展開を話し合いながら必要な課題を発見できる。
2	受け入れや送り出し時に保護者と面談以外でもその日の様子を詳しく伝えている。	利用日の様子から家庭や園で何かしんどい事があったか(楽しいことがあったか)など話を聞き、利用児の頑張りを保護者に伝えるようにしている。	保護者の相談や心配事を聞いてそのしんどさを受け止めようとしている。また本児の気持ちを推測し保護者に伝えるようにしている。
3	職員同士の密な連携が取れるところ。	個別の課題とは別に友達と遊びの相談をして、自分の意見を発言する練習をしながら、意見の交換をしている。意見をまとめて皆で一緒に遊ぶ時間を持つようにしている。	手芸や工作、陶芸やクッキング等も課題に取り入れて楽しみながら課題に取り組んでいる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休み(夏休みや冬休み)でも午前中は児童発達の利用があり、長い時間子供たちを預かることができない。	午前中は児童発達の利用があるため。	他事業所との併用利用を進める。
2	平日は少人数での活動になる(3人)。	午前中は児童発達の利用者があるため、(放課後デイサービスと合わせて一日10人)少人数になる。	少人数だからこそできる遊びや活動に力を入れている。
3	両親共働き世代が増えている為、送迎を希望されるご家庭は多いが送迎できる職員が不足している。一度に送迎できる人数が限られている。	一度に送迎できる人数が限られている。	ハローワークに求人を出す。